

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I P P O兵庫校		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各児童の特性に応じた支援 運動療育を通じての集団療育	・役割を分担して支援をしているが、各自役割に固執せず状況 をみて臨機応変に動くようにしている。 ・児童が社会へ順応できることを目標としてコミュニケーション や社会性を重点的に療育している。	PDCAサイクルを活用しより良い支援を目指す
2	保護者との情報共有 療育内容の周知	・口頭、書面、業務管理ソフトなどを用いて、活動の様子、活 動の様子・課題・良いところを伝えている。 ・月末に業務管理ソフトで児童の活動の写真を添付している。	避難訓練の実施など公表できていない部分もあるので、活動 内容を網羅的に伝えていく
3	通所を楽しみにしている児童が多い	・集団療育を行うことで児童同士のコミュニケーションをと り、お互いが遊ぶことを楽しみにしている。 ・運動療育では「しんどくても楽しい」内容で児童のモチベー ションがあがるようにしている ・イベントは実施の都度、内容（イベント内容・参加児童・費 用・改善点等）を記録し次回に繋げている。	利用児童の年齢層に差があるので、療育内容が偏らないよう 工夫する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が不十分	グループ内では、合同イベントなどで交流することはあるが、 それ以外の地域や組織との交流までに至っていない。	事業所として地域とのコミュニケーションを図り、交流につ なげる。
2	家族に対する支援プログラムや家族も参加できる研修会、情 報提供の機会がない	研修できる技術がない	事業所内で研修を強化し、外部発信できるように知識と技術 を向上させる。
3	保護者への活動内容を網羅して周知できていない	楽しんでいる児童の活動を周知するのが中心となっている。	避難訓練など、事業所の取り組んでいる内容など日々の療育 とは別の活動内容も周知していく必要がある。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 I P P O兵庫校

公表日 2026年3月30日

利用児童数 31

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			1	勉強する場所、体操する場所がしっかり分けられているので、子どもにとっても分かりやすいと思います。	ありがとうございます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1			面談がある日は、スッキリと整理されていて子どもたちにも過ごしやすい環境だと思います。	ありがとうございます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19			1	子どものことをよく理解していただき、特性に合った支援をいただいています。	ありがとうございます。励みになります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1		1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19			1	面談や日常的な会話の中で、どうしていけば良い方向に行くのかを考えて計画書も作成していただいています。	ありがとうございます。励みになります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11		3	6	・集団で運動をしているが、個々で何をしているか分からない。 ・IPPOグループでの交流はあるので、無理に他での交流はなくても良いと思います。	・現在、他施設との交流はありません。今後、検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		2	5	デイ利用をしている保護者同士の交流があれば嬉しいです。	ご意見ありがとうございます。検討いたします。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20				学校でのことも相談したり一緒にいろいろと考えてもらっています。	ありがとうございます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2		1	・いつもアドバイスしてくださりありがとうございます。 ・定期的ではないですが、何かあれば電話でも相談させてもらっています。	ありがとうございます。今後も気軽に相談していただければと思います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	8	5	開催されても参加できないことが多いので大丈夫です。	ご意見ありがとうございます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19			1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19			1	電話やノートだけでなく、チャットやラインなどのツールがあれば、双方の時間を気にすることなく連絡できるので検討してほしいです。	現時点では、電話や連絡ノートでのやり取りになり、ご不便をおかけしますが、今後、ご意見を参考にし、適した連絡手段を検討します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			1	いつも素敵な写真付き通信をありがとうございます。雰囲気がとても伝わってきます。SNSで活動内容や様子が見れて安心できます	ありがとうございます。担当職員の励みになります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			10	伝えてもらっているはずですが、私が忘れてしまっています。ごめんなさい。	発信ができていなかった内容もありますので、おたよりやSNSを通じて発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			12		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19				他のデイから帰ってきたときに「IPPOの〇〇先生いなくなったな～」とつぶやいていました。週に1回の通える日が楽しみになっています。	ありがとうございます。当該職員の励みになります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		I P P O兵庫校		公表日		2026年 3月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		高学年児童・中高生が運動するにはもう少し広さが欲しい。	環境整備を行い、スペースを確保します。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		日による。特性・年齢などにより必要な職員数が違ってくると思われる。役割を固定化せず流動的に、全員ですべての児童を見守るよう心掛けている。	限られた人員で役割分担しつつ、柔軟に業務を行う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		構造化されているがクールダウンできるスペースが少ない。	パーティションなどで区切りスペースを確保します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清潔を心掛けているが築年数的に難しいところもある。	環境整備を行い、清潔感を心がけます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウンや着替えなどで個別の空間を使用することはあります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員全員で相談している。	今後も継続します。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		主なプログラムは集団ですが、児童の様子をみながら自己決定につなげています。	今後も継続します。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	今まで卒業し福祉サービスへ移行した利用者は少なく共有はしていませんが、今後は必要に応じて提供します。	移行先と事前に情報を共有し、卒業後の支援に繋がります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	今後は必要かと思いますが、現在は職員の心理士のアドバイスを受けています。	今後も継続します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	現実的に難しい。	今後検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		面談の時に困りごとに対する助言を行っていますが、ペアレントトレーニングは行っていません。	研修で知識を拡充し、今後行えるよう
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4		

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		おやつ提供の際、クッキングイベントの際には成分など細かくチェックしています。	これまで、食品によるトラブルはありません。今後も継続となります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				